

令和6年度事業報告

活動の概要

令和6年度は、第57回通常総会で決定した事業計画、主として「①森林土木技術者の養成と技術向上を図るための研修会等の実施、②労働災害の未然防止を図るための安全活動、③コンプライアンス活動への積極的かつ強力な取り組み、④林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査、⑤山地災害防止等に関する社会貢献事業、⑥優良工事従事者の表彰、⑦森林土木事業分野の解説書等の発行・紹介・斡旋等の事業、⑧関係団体との連携強化の取り組みなど、林土連等の指導のもとに協会活動を行った。

事項別等の主な概要は以下のとおりである。

1 施工管理技術研修会(CPD)の実施について

優良な林業土木工事の実施に資するため、4月25日 ANA クラウンプラザホテル札幌において、北海道林業土木連合協議会主催による「令和6年度施工管理技術研修会(4CPD量)」を実施した。

この研修会には、当協会からの CPD 会員受講者等43名と道内各協会 CPD 会員等94名が参加し、北海道森林管理局治山課・森林整備第二課の各担当官から「協会技術委員会提出の「改善要望事項等について」に対する回答の他、森林土木事業については、①令和6年度の森林土木事業について、②安全対策について、の説明指導を受けた。

この研修会は、次年度も引き続き実施する。

2 森林土木事業技術講習会(CPD)の実施について

森林土木分野における技術は年々進歩しており、そのため森林土木技術者は自ら継続的な学習・研鑽をすることが必要となってきている。

また、公共事業等の発注機関側からは、受注者側の技術水準の確保に関する技術資格に加え、技術者継続教育(CPD)を受講していることが求められている。この様なことから、道内CPD会員の技術の向上を図るため北海道林業土木連合協議会主催により、4月26日ANAクラウンプラザホテル札幌において、「令和6年度(第14回)森林土木事業技術講習会(6.5CPD量)」を開催した。

当協会からの CPD 会員受講者等48名と道内各協会 CPD 会員等161名が受講した。

この研修会は、次年度も引き続き実施する。

3 令和6年度林業土木工事施工技術・積算研修会（CPD）及び積算参考資料の発行について

一般競争入札、総合評価落札方式等の入札制度が定着するなかで、会員各社の積算能力を高度に発揮する必要があるとの考えから、技術委員会が中心となって5月22日ANAクラウンプラザホテル札幌において、「令和6年度林業土木施工技術・積算研修会（6CPD量）」を開催し、当協会CPD会員29名が受講した。この研修会については次年度の開催に向け準備を進めている。

なお、積算に必要な関係資料をとりまとめた「令和6年度版治山・林道事業積算参考資料」の改訂版と「林道標準図」を10月に発行し道内会員に幹旋した。また積算参考資料の発行は、次年度も引き続き実施する。

4 労働災害防止のための安全指導及びパトロールの実施について

今年度の安全パトロールを昨年と同様に、当協会の安全委員会委員と森林管理局・署担当官との合同で、9月24日に日高北部森林管理署管内の「アベツ川外治山工事」、9月25日に胆振東部森林管理署管内「稲里林道稲里支線改良工事」の各現場で行った。

現場では工事内容、安全対策等の説明を受けた後、「安全パトロール点検表」により書類及び現場点検を行い、安全委員等から講評を行われ、安全対策を講じて施工しており高い評価を受けた。講評後、局担当官等から全国の重大災害状況等の説明と安全対策の指導も受けた。

次年度についても、労働災害防止のため引き続き実施する。

5 国有林防災ボランティア協定に基づく活動の実施について

平成20年8月に北海道森林管理局長と当協会会長との間で「北海道森林管理局国有林防災ボランティア制度に関する協定書」を締結し、現在当協会登録者は133名となっている。

令和6年度は、活動要請が無かったことから実施していない。

次年度についても、この協定による活動を取り組むこととする。

6 社会貢献活動について

令和6年度の社会貢献に関するボランティア活動は、胆振東部森林管理署管内で、キャンプ場施設交換を22社28名で行った。

この社会貢献活動については、次年度も取り組むこととする。

7 国土緑化活動(保育)の取り組み

平成30年に締結した「社会貢献の森における森林整備活動に関する協定書」に基づき、設立50周年記念事業として植栽したトドマツ苗の保育活動を実施した。

次年度も生育状況を勘案し下刈り等の保育活動に取り組む。

8 林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査研究について

令和6年度の調査は、11月に日高北部森林管理署管内の「オタリマップ沢上流沢治山工事 1の沢流路工」を調査し林土連及び森林管理署に報告した。

次年度については、令和2年度に日高北部森林管理署管内で調査した「鉄建の沢治山工事」の木製構造物を再調査をすることとしている。

9 森林工事現場見学会の実施について

この事業については、例年岩見沢農業高等学校森林科学科3年生を対象に治山・林道の工事現場の見学会を実施してきたが、令和6年度においても学校側より授業時間の確保が困難なため実施を見送りたい、との意向があったことから実施しなかった。

しかしながら、森林土木事業に接し理解を深めてもらうためには重要な取り組みであることから、学校側と調整を図りながら、次年度も実施に向けて働きかけていくこととしている。

10 工事コンクール表彰について

林野庁及び北海道森林管理局治山・林道工事コンクールにおいて、優秀・優良工事受賞社の現場代理人等4名に対しその功績をたたえ、賞状・副賞を授与した。

この表彰については、次年度も引き続き実施する。